

平成 23 年度事業報告書

目次

I 法人の概要.....	2
1. 学校法人の概要(各課程学生・生徒・園児数等の状況).....	2
(1)大学・短期大学	
(2)高等学校・中学校・幼稚園	
2. 役員・評議員・教職員等の状況.....	3
(1)理事・監事・評議員	
(2)教職員数	
II 事業の概要.....	4
1. 計画どおり実施された事業.....	4
2. その他.....	4
3. 各課程の教育研究活動.....	4
(1)大学院・大学・短期大学	
(2)中学校・高等学校	
(3)幼稚園	
III.財務の概要.....	7
1. 学校法人会計と企業会計.....	7
2. 決算の状況.....	7
(1)資金収支計算書の状況	
(2)消費収支計算書の状況	
(3)貸借対照表の状況	
3. 平成 23 年度収支決算状況.....	8
(1)資金収支計算書	
(2)消費収支計算書	
(3)貸借対照表	
4. 経年比較.....	14
(1)資金収支四ヵ年比較	
(2)消費収支四ヵ年比較	
(3)貸借対照表四ヵ年比較	

I 法人の概要

1. 学校法人の概要(各課程学生・生徒・園児数等の状況)

(1) 大学・短期大学

平成23年5月1日現在

学 校 名 (所 在 地)	学 部 ・ 学 科 等 名	開設 年度	入学 定員 (a)	入学 者数 (b)	編入学 定員	編入学 者数	収容 定員 (c)	現員 (d)
駒 沢 女 子 大 学 (東京都稲城市)	大学院	年度	人	人	人	人	人	人
	人文科学研究科修士課程	H14	25	17	-	-	50	38
	仏教文化専攻	H14	5	2	-	-	10	3
	臨床心理学専攻	H15	20	15	-	-	40	35
	大学院計		25	17	-	-	50	38
	人文学部	H 5	450	388	30	4	1,860	1,422
	日本文化学科	H 5	60	71	10	0	260	231
	国際文化学科	H 5	120	129	20	4	520	397
	人間関係学科	H12	150	119	-	-	600	465
	空間造形学科	H14	60	35	-	-	240	162
	映像コミュニケーション学科	H14	60	34	-	-	240	167
	人間健康学部	H21	80	83	-	-	240	216
	健康栄養学科	H21	80	83	-	-	240	216
	学部計		530	471	30	4	2,100	1,638
駒沢女子大学計		555	488	30	4	2,150	1,676	
駒 沢 女 子 短 期 大 学 (東京都稲城市)	保育科	S40	130	143	-	-	260	258

(2)高等学校・中学校・幼稚園

平成23年5月1日現在

学 校 名 (所 在 地)	課 程 名	開設 年度	入学定員	募集定員	入学者数	収容 定員 (c)	現員 (d)
駒沢学園女子高等学校 (東京都稲城市)	全日制普通科課程	年度 S23	人 336	人 140	人 136	人 1,008	人 422
駒沢学園女子中学校 (東京都稲城市)		S22	160	75	41	480	142
駒沢女子短期大学付属 こまざわ幼稚園 (東京都稲城市)		S25	60	40	64	160	189

2. 役員・評議員・教職員等の状況

(1)理事・監事・評議員

平成23年5月1日現在

理 事	12名
監 事	2名
評議員	27名

(2)教職員数

平成23年5月1日現在

課程 教職員	合計	大 学			短 期	大 学	高 校	中 学	幼 稚 園	法 人
		人文学部	健康栄養	大学計	保 育 科	短大計				
専任 教職員	教 授	49	32	9	41	8	8			
	准教授	24	15	4	19	5	5			
	講 師	13	8	3	11	2	2			
	助 教	1	0	1	1	0	0			
	助 手	7	1	6	7	0	0			
	教 諭	52			0			28	13	11
	計	146	56	23	79	15	15	28	13	11
職 員	63	34	4	38	8	8	7	3	1	6
専任教職員計	209	90	27	117	23	23	35	16	12	6
兼 任	教 員	176	112	22	134	21	21	17	2	2
	職 員	25	18	3	21	0	0	4	0	0
兼任教職員計	201	130	25	155	21	21	21	2	2	0
合 計	410	220	52	272	44	44	56	18	14	6

II 事業の概要

平成23年3月23日、理事会第2号議案「平成23年度事業計画について」及び第3号議案「平成23年度予算(案)について」において議決された案件について、また、平成24年3月27日、理事会第1号議案「平成23年度補正予算について」において議決された案件について、概ね計画通りに実施されたことを報告いたします。

1. 計画どおり実施された事業

[建物]

- ① 大学館(05,06)学修支援センター、多目的プラザ開設に伴う改修工事
- ② 中学高校館省エネ工事
- ③ 大学館トイレ節水化工事

[構築物]

- ① 避難通路(階段)拡張工事(グラウンド)
- ② 修景池濾過器設備工事
- ③ グラウンド砲丸投げサークル移動に伴う工事

[設備関係支出]

- ① 大学館(05,06)学修支援センター、多目的プラザ開設に伴う備品(パソコン等)
- ② サーバー機器の更新
- ③ 映像共有システム(補助金申請対象)
- ④ 図書館システムの更新(パソコン、サーバー)
- ⑤ 校内各所への掲示板設置

2. その他

[防災対策]

- ① 屋外および中高館内に防災用品備蓄倉庫を増設
(災害に備え、非常食他、防災用品を追加して収納)

[防犯対策]

- ① 大学・短大体育館下および図書館下駐車場の外周道路の境界にフェンスを設置
- ② ガードマンによる外周道路の巡回強化

3. 各課程の教育研究活動

(1) 大学院・大学・短期大学

① 大学院

- 1) 仏教文化専攻の既卒者の修士論文集を発行した。
- 2) 臨床心理士試験の合格数が減少した。このため、大学院担当教員による対策講座等が行われることとなった。

② 大学

1) 全般

- a) 一般社会から容易に認識されうる駒沢女子大学の特色を打ち出すため、コンサルタントを入れ、そのポイントと方法を現在検討中である。
- b) 社会的評価に耐えうるようにするため、本学での学修の成果、日常の教育活動成果をホームページを通して、積極的に外部に発信した。

2) 教育面

- a) 学修ポートフォリオをより充実するよう改善を加えつつある。
- b) 「学修支援センター」による入学前指導、基礎学力テスト、その結果に基づく正課外での学修支援体制の強化を行った。
- c) 1年次から3年次までにわたる一貫したキャリア教育システムの構築を行って、25年度から実施する。

d) 学生生活の多方面にわたるきめ細かな学生支援を行うための制度の準備を行った。24年度から実施する。

3) 研究面

a) 「科学研究費補助金」の応募者は分担者1件を含め新規11件中、採択1件。継続5件。その他の研究費補助金は3件中、採択2件であった。

4) 国際協力

a) オトゴンテンゲル大学との交流実績により、モンゴル商務省より勲章授与された。

③ 短期大学

1) 全般

a) 一般社会から容易に認識されうる駒沢女子短期大学の特色を打ち出すため、コンサルタントを入れ、そのポイントと方法を現在検討中である。

b) 社会的評価に耐えうるようにするため、本学での学修の成果、日常の教育活動成果をホームページを通して、積極的に外部に発信した。

2) 教育面

a) 教員による入学前指導、「学修支援センター」による基礎学力テスト、その結果に基づく正課外での学修支援体制の強化を行った。

b) 学生生活の多方面にわたるきめ細かな学生支援を行うための制度の準備を行った。24年度から実施する。

3) 研究面

a) 「科学研究費補助金」の応募は分担者1件。継続1件であった。

(2) 中学校・高等学校

① 基礎学力を身に付けさせる授業の展開

1) F.L.T.T(Feel-Learn-Think-Try)循環型の授業推進

積極的に推進している教員については、生徒の授業評価も高かった。

F.L.T.T 循環型の授業展開は2年目となり、各自の工夫で採り入れる教員が増えた

② 「特色ある授業」を柱に、従来型授業方法からの転換を図る

1) 高校Sコース「総合リテラシー」→高1高2合同授業(協同学習) ※学力試験の成績向上

2) 高2Aコース「大学入門」→1、2学期は外部講師で実施 3学期は「高大連携」で実施

※進路希望調査上、駒沢女子大、短期大学の志望者増加

3) 高2Aコース「論理コミュニケーション」→通年、口頭で論理的に説明する活動を実施。

③ 奨励制度の運用の見直し

1) 高校Sコース「総合リテラシー」 → 高1高2合同授業(協同学習) ※学力試験の成績向上

2) 技能奨励生 バスケットボール部 → 高校 H23年度入学生より適用廃止

中学 H24年度入学生より適用廃止

硬式野球部 → 高校 H25年度入学生より適用廃止

中学 H23年度入学生より適用廃止

ウィンドアンサンブル部 → 高校 H24年度入学生より適用廃止

中学 H22年度入学生より適用廃止

④ 強化指定クラブの運用の見直し

1) 3クラブ(バスケット・硬式野球・ウィンドアンサンブル)の強化指定は継続→H24も継続

H23年度 活動成果

バスケット (中学) 全国大会ベスト8

硬式野球 (中学) 全国硬式野球ユース選手権ベスト8

ジャイアンツ杯争奪関東女子硬式野球Uリーグ優勝

ジャイアンツ杯争奪関東女子硬式野球Vリーグ優勝

アメリカ大使館主催ベースボール・クリニック実施

ウィンドアンサンブル (中学) 東京都アンサンブルコンテスト 銅賞

(高校) 東京都吹奏楽コンクールB部門 金賞

東京都アンサンブルコンテスト 金賞

2) 経費節減 前年比 73.0%	→ H24 予算	バスケットボール	前年比 51.8%
		硬式野球	前年比 86.7%
		ウィンドアンサンブル	前年比 78.9%
		3 クラブ全体	前年比 72.4%

⑤入試制度ならびに生徒募集の運用の見直し

- 1) 中学入試の教科 2科・4科選択 →2科のみで実施
- 2) 中学入試の回数 全5回 →全4回(午後入試を1減)で実施
- 3) 高校入試 推薦入試の基準 Sコース 5科22 →5科21で実施
Aコース 9科29(3ポイント利用可)
→9科28(2ポイント利用可)

⑥教員の内部研修の充実により教員の対応力の向上を図る

- 生徒対応、クラス運営関連で外部講師により、4回実施
学年教員により、2回実施
知識や理論を採り入れ、実践に活かそうとする教員が増加した

⑦その他

H23年度 専任教員 採用4名 退職 5名

(3)幼稚園

①施設・設備について

- 1)未就園児施設・れんげ組の雨よけ屋根の設置
- 2)実習充実の為、観察室放送設備の買い替え
- 3)園舎設備部分改修
- 4)未就園児用施設設備の整備

②未就園児教室

- ・「りすさん教室」(会員制)を開催し、年間を通し二歳児教育のサポート
- ・「幼稚園で遊ぼう」という会を毎月1回催す。幼稚園就園前の子育て支援活動

③大学・短大との連携

- ・FD活動 短大保育科職員と幼稚園職員との共同研修・研究会の開催する
- ・短大に出向き造形活動テラコッタ粘土による制作指導を受ける
- ・学生作品展・りんどう祭学生指導による造形遊びにて遊ぶ
- ・健康栄養学科の協力により、パン作りを行なう。
- ・映像コミュニケーション学科と協力し、発表会の記録をDVD化する
- ・保育科と協力し、発表会合奏曲の編曲等を行う
- ・健康栄養学科との協力。新しい共同研究の試み。先生の講演・学生の保育参観をして頂きました。

④地域とのかかわり

- ・養護老人ホーム「ひらお苑」へ年3回訪問
- ・地域活動(運動会・お祭・夜間パトロール・落書き落とし、違反ポスターはがし・清掃等)への参加
- ・地域教育懇談会への参加

Ⅲ.財務の概要

1. 学校法人会計と企業会計

学校法人は、学校を運営し教育・研究を遂行することが目的であり、企業のように営利を目的とするのではなく、人材の育成を目的とし、研究活動等はその成果を社会へ還元していくことを目的としています。企業会計では、収益と費用から損益計算書を作成し、その経営成績を読み取りますが、学校会計は、計算書類から教育研究環境を充実・発展させるための資金や財産を管理し、財務状況を正確に把握し、健全な経営を維持していなければなりません。

国や地方公共団体から補助金の交付を受ける学校法人は「学校法人会計基準」に従い会計処理を行い、計算書類を作成することとなっています。会計基準では「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」の計算書類の作成が義務付けられています

2. 決算の状況

(1) 資金収支計算書の状況

「収入の部」

平成 23 年度の資金収入合計（前年度繰越支払い資金を除く）は 4,712 百万円で、年度予算に対しては 2 百万円の増加、昨年度実績に対して 1,100 百万円の減少になりました。

「支出の部」

資金支出合計（次年度繰越支払い資金を除く）は 4,406 百万円、年度予算に対して 7 百万円減少し、昨年度の決算実績に対して 1,350 百万円減少しました。

(2) 消費収支計算書の状況

「収入の部」

平成 23 年度の帰属収入合計は 4,008 百万円で年度予算に対して 32 百万円増加し、昨年度実績より 77 百万円減少しました。

第 3 号基本金（駒沢女子大学・短期大学奨学金基金）への組入れを 1 百万円行いました結果、消費収入の合計は 4,007 百万円となりました。

（昨年度は基本金への組入れは実施していません。）

「支出の部」

支出合計は 4,792 百万円で年度予算に対して 108 百万円増加し、昨年実績に対しては 648 百万円減少しました。

この結果消費収支差額は△785 百万円で、昨年実績△1,356 百万円より 571 百万円収支が改善することとなりました。ただし、支出の中には資金の減少につながらない減価償却費 1,089 百万円が含まれています。

(3) 貸借対照表の状況

平成 24 年 3 月末現在の「資産の部」の合計は 570 億円で、昨年度末に比べ 7.4 億円の減少となりました。これは主に有形固定資産の減少 8.3 億円によります。

（有形固定資産の減少は、建物・機器備品等の減価償却約 10.9 億円が大きく影響しました。）

また、「負債の部」合計は 14.2 億円で昨年度末に比べ 48 百万円減少しました。

しかしながら「負債の部」合計 13.7 億円に対して、流動資産が 127.1 億円となり手許資金（3 月末の現金預金残高は 36.0 億円、昨年末比 3.1 億円増加）も潤沢であり、内部留保も十分に確保しています。

3. 平成 23 年度収支決算状況

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書は、学校法人の当該会計年度（4月1日～翌3月31日）における諸活動に対するすべての資金の動きを記録し、その支払資金(現金及びいつでも引き出すことの出来る預貯金)の収入及び支出の顛末を明らかにするものです。

収入の部

(単位: 円)

科 目	平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	増 減
学生生徒等納付金収入	2,458,655,950	2,557,175,500	98,519,550
手数料収入	53,601,500	50,581,320	△ 3,020,180
寄付金収入	131,500	2,630,000	2,498,500
補助金収入	692,395,431	668,848,225	△ 23,547,206
国庫補助金収入	330,218,000	321,928,000	△ 8,290,000
地方公共団体補助金収入	362,177,431	346,920,225	△ 15,257,206
その他補助金収入	0	0	0
資産運用収入	655,706,050	663,676,670	7,970,620
資産売却収入	1,346,384,172	154,782,312	△ 1,191,601,860
事業収入	34,346,277	38,820,090	4,473,813
雑収入	61,120,291	24,634,050	△ 36,486,241
借入金等収入	200,000	200,000	0
前受金収入	673,080,660	673,228,858	148,198
その他の収入	567,878,473	591,276,486	23,398,013
資金収入調整勘定	△ 731,213,215	△ 713,243,212	17,970,003
前年度繰越支払資金	3,233,547,119	3,289,202,269	55,655,150
収入の部合計	9,045,834,208	8,001,812,568	△ 1,044,021,640

「学生生徒等納付金収入」の増額は、大学人間健康学部健康栄養学科(平成 21 年度開設)の年次増によるものです。

「手数料収入」の減額は、入学志願者の減少によるものです。

「寄付金収入」は、当年度の特別寄付金の増額によるものです。

「補助金収入」は、大学・短大での経常費補助金 25,386 千円の減、特別補助金等 17,096 千円の増、高校・中学・幼稚園の経常費補助金 2,352 千円の減、特別補助金等で 19,842 千円の減額です。

「資産運用収入」は、銀行預金の利息、投資信託、公社債の配当金収入です。超低金利政策の続いている中で、資産運用にも諸々の制約があり、許される範囲で少しでも有利な運用を図るよう、努力を続けています。

「資産売却収入」は、保有する有価証券の売却した際の収入額ですが、金融情勢を勘案し、より慎重な対応をしております。

「事業収入」では、スクールバスの利用者の増額によるものです。

「雑収入」では、専任教職員の退職金に対する私立大学退職金財団及び東京都私学財団からの交付金があり、今年度は前年度より私立大学退職金財団交付金、東京都私学財団交付金共に減額となっております。

「借入金等収入」は、本学における借入金は、東京都私学財団の入学支度金のみで、今年度は 1 名の借入がありました。

「前受金収入」は、施設設備利用料の前受額の増額です。

「その他の収入」は、前会計年度末において計上した未収入金を受け入れる金額、研修旅行預り金収入等です。

「資金収入調整勘定」は、前会計年度末において資金受入がなされた「前期末前受金」や、年度内の取引であるが、資金は入金されていない「期末未収入金」は期末時の支払資金に影響があるため控除します。

「前年度繰越支払資金」は、前年度末から繰越される現預金の額です。

収入の部の合計額が前年比で減額しておりますが、資産売却収入の減額が大きな要因です。

支出の部

(単位: 円)

科 目	平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	増 減
人件費支出	2,390,794,785	2,257,342,261	△ 133,452,524
教育研究費支出	839,280,507	783,621,186	△ 55,659,321
管理経費支出	504,710,551	486,109,247	△ 18,601,304
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	62,676,000	188,325,688	125,649,688
設備関係支出	136,787,611	78,585,366	△ 58,202,245
資産運用支出	1,686,898,573	505,032,826	△ 1,181,865,747
その他の支出	298,658,158	254,083,164	△ 44,574,994
資金支出調整勘定	△ 163,174,246	△ 146,929,170	16,245,076
次年度繰越支払資金	3,289,202,269	3,595,642,000	306,439,731
支出の部合計	9,045,834,208	8,001,812,568	△ 1,044,021,640

「人件費支出」の減額は、退職者減によるものです。

「教育研究経費支出」は、消耗品費・支払報酬・支払保守費・支払手数料等の 33,620 千円増額と、光熱水費・修繕料・奨学金費・補助活動収入原価の 87,928 千円減額等によるもので、大きな減額要因は、前年度に講堂修復工事費(修繕)と、セミナーハウスの閉鎖に伴う収入減のためです。

「管理経費支出」は広告費・支払報酬・賃借料の 11,200 千円増額と、消耗品・通信費・渉外費・支払手数料・雑費・補助活動収入原価の 29,400 千円減額その他によるものです。

「借入金等返済支出」は、東京都私学財団への入学支度金返済分で、今年度は該当がありませんでした。

「施設関係支出」の増額は、中高館省エネ照明工事、大学短大使用トイレ節水化工事の実施のためです。

「設備関係支出」の減額は、前年度放送設備、実験研究設備、講堂舞台照明設備等の備品購入があったためです。

「資産運用支出」は、保有する資産の入替えによる支出で資金収入における資産売却収入に対応する支出で、今年度はこの社会情勢下において新規購入は極力控えました。

「その他の支出」は、前会計年度末に未払金で計上した金額や修学旅行、研修旅行預り金支出です。

「資金支出調整勘定」は、翌年度に支払われる「期末未払金」、前年度会計年度に支払われた「前期末前払金」等であり、今年度の支払資金に影響があるため控除されます。

「次年度繰越支払資金」は、平成 24 年度に繰越される現預金です。

(2)消費収支計算書

消費収支計算書は、当該会計年度の帰属収入(当年度純粋に収入として計上できるもので、借入金や次年度の分の前受金は含まない)及び消費支出(経費のことで借入金等返済支出、施設関係支出、設備関係支出等は含まないが、資産の当年度減少額である減価償却額は含む)の内容と収支の均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状態を明らかにするものです。

この消費収支計算書は企業会計で言う「損益計算書」にあたり、帰属収入が収益に対応し、消費支出が費用に対応します。企業会計と大きく違う点は、固定資産の取得資金を留保するために、帰属収入から先に基本金組入額を控除するところにあります。控除後の金額を「消費収入」と呼び、これを消費支出に充てる源泉とします。この消費収入と消費支出との均衡が保たれていれば学校法人の健全な経営が継続的に行われているということとなります。

消費収入の部

(単位: 円)

科 目	平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	増 減
学生生徒等納付金	2,458,655,950	2,557,175,500	98,519,550
手数料	53,601,500	50,581,320	△ 3,020,180
寄付金	2,353,765	3,302,049	948,284
補助金	692,395,431	668,848,225	△ 23,547,206
国庫補助金収入	330,218,000	321,928,000	△ 8,290,000
地方公共団体補助金収入	362,177,431	346,920,225	△ 15,257,206
その他補助金収入	0	0	0
資産運用収入	655,706,050	663,676,670	7,970,620
資産売却差額	0	0	0
事業収入	34,346,277	38,820,090	4,473,813
雑収入	187,649,250	25,760,910	△ 161,888,340
帰属収入合計	4,084,708,223	4,008,164,764	△ 76,543,459
基本金組入額合計	0	△ 1,000,000	△ 1,000,000
消費収入の部合計	4,084,708,223	4,007,164,764	△ 77,543,459

消費支出の部

(単位: 円)

科 目	平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	増 減
人件費	2,508,628,164	2,311,467,971	△ 197,160,193
教育研究費	1,867,406,496	1,769,878,367	△ 97,528,129
管理経費	605,147,256	589,201,268	△ 15,945,988
借入金等利息	0	0	0
資産処分差額	456,268,152	116,951,846	△ 339,316,306
徴収不能額引当繰入額	3,306,000	4,941,000	1,635,000
[予備費]	0	0	0
消費支出の部合計	5,440,756,068	4,792,440,452	△ 648,315,616
当年度消費支出超過額	△ 1,356,047,845	△ 785,275,688	
前年度繰越消費収入超過額	△ 510,270,718	△ 1,866,318,563	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 1,866,318,563	△ 2,651,594,251	

「人件費」は、退職給与引当金繰入額 60,563 千円を加算計上してあります。退職給与引当金繰入額は、将来退職金支出のために一定の基準で繰入れているものです。

「教育研究経費」は、経過による固定資産の価値の減少を、一定の方法により費用として参入する、減価償却費 986,257 千円を計上しています。

「管理経費」は、経過による固定資産の価値の減少を、一定の方法により費用として参入する、減価償却費 103,092 千円を計上しています。

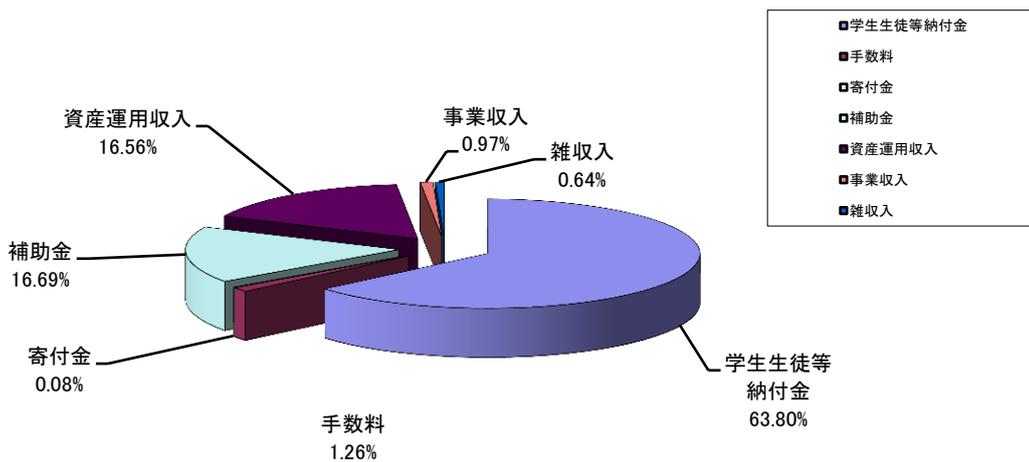
「資産処分差額」は、有価証券、備品、図書等の除却額です。

「徴収不能額引当繰入額」は、学生生徒等の退学、除籍による学生生徒等納付金の徴収不能引当金です。

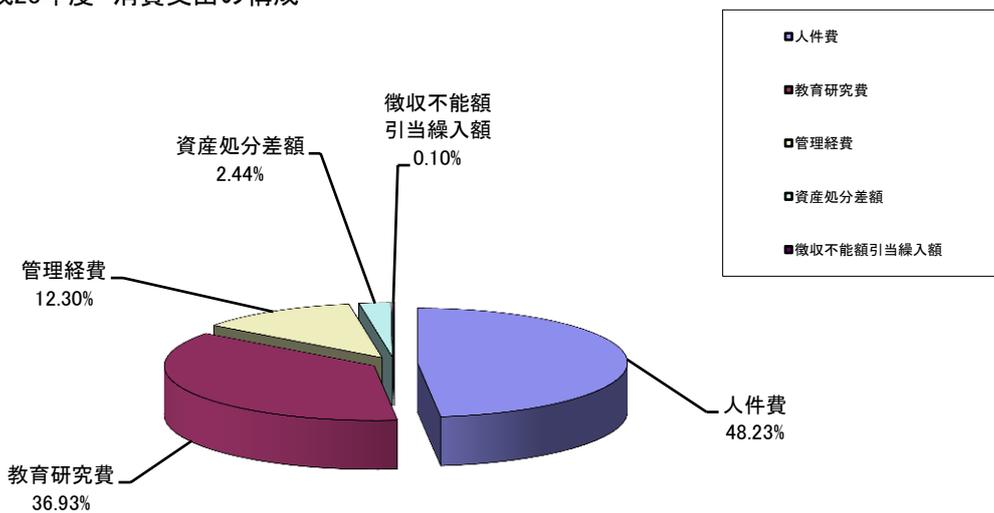
当年度は消費支出超過で785,275千円となりました。翌年度繰越消費支出超過額は2,651,594千円となっております。

しかし、本学の場合、学校に必要とされる教育研究環境である施設、設備を充実させてきたことから、「減価償却額」の合計が1,089,349千円あり、資金の面への影響はありません。

平成23年度 帰属収入の構成



平成23年度 消費支出の構成



(3) 貸借対照表

貸借対照表

(単位: 円)

科 目	平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	増 減
資産の部			
固定資産	44,985,821,738	43,928,829,768	△ 1,056,991,970
有形固定資産	36,040,733,159	35,210,893,527	△ 829,839,632
土地	13,986,689,398	13,986,689,398	0
建物	19,159,072,439	18,512,763,019	△ 646,309,420
その他の有形固定資産	2,894,971,322	2,711,441,110	△ 183,530,212
その他の固定資産	8,945,088,579	8,717,936,241	△ 227,152,338
差入保証金	5,460,000	3,360,000	△ 2,100,000
電話加入権	1,188,186	1,188,186	0
特定資産購入引当資産	2,835,197,894	2,605,833,000	△ 229,364,894
その他の固定資産	6,103,242,499	6,107,555,055	4,312,556
流動資産	12,712,613,750	13,033,229,105	320,615,355
現金預金	3,289,202,269	3,595,642,000	306,439,731
その他の流動資産	9,423,411,481	9,437,587,105	14,175,624
資産の部合計	57,698,435,488	56,962,058,873	△ 736,376,615
負債の部			
固定負債	571,010,954	614,584,084	43,573,130
長期借入金	600,000	400,000	△ 200,000
その他の固定負債	570,410,954	614,184,084	43,773,130
流動負債	802,587,254	806,913,197	4,325,943
未払金	54,860,948	57,393,438	2,532,490
その他の流動負債	747,726,306	749,519,759	1,793,453
負債の部合計	1,373,598,208	1,421,497,281	47,899,073
基本金の部			
1号基本金	49,402,957,949	49,632,322,843	229,364,894
2号基本金	2,835,197,894	2,605,833,000	△ 229,364,894
3号基本金	5,680,000,000	5,681,000,000	1,000,000
4号基本金	273,000,000	273,000,000	0
基本金の部合計	58,191,155,843	58,192,155,843	△ 1,000,000
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費支出超過額	△ 1,866,318,563	△ 2,651,594,251	△ 785,275,688
消費収支差額の部合計	△ 1,866,318,563	△ 2,651,594,251	△ 785,275,688
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	57,698,435,488	56,962,058,873	△ 736,376,615

「基本金の分類」

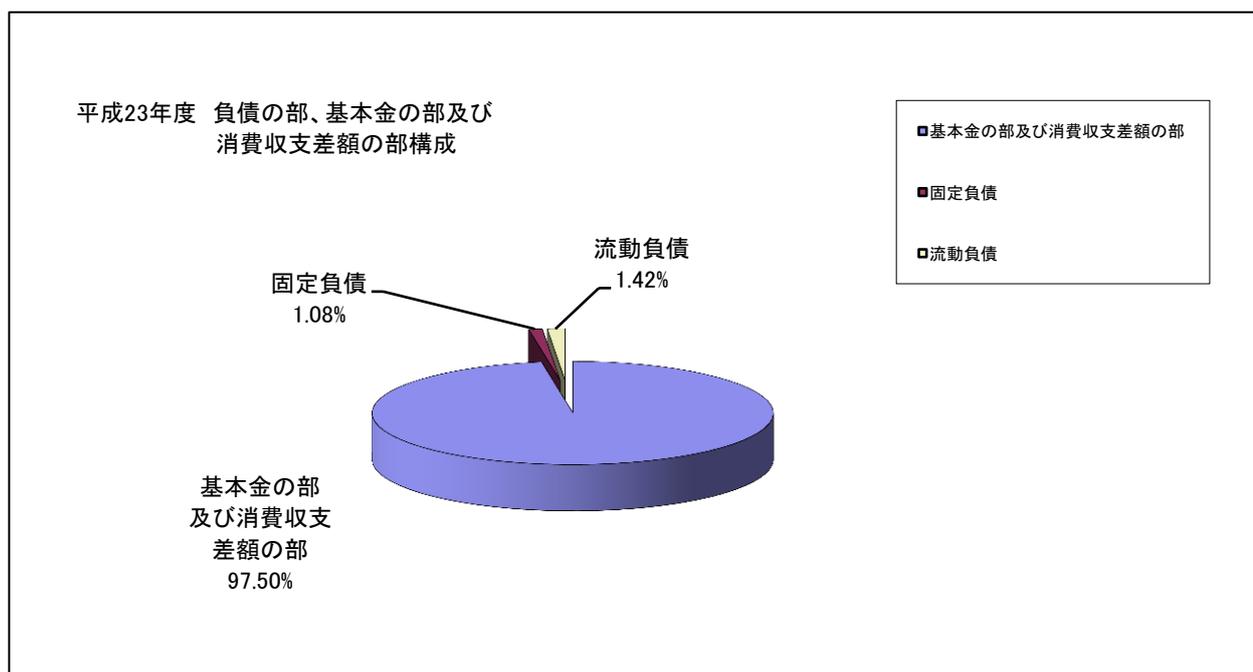
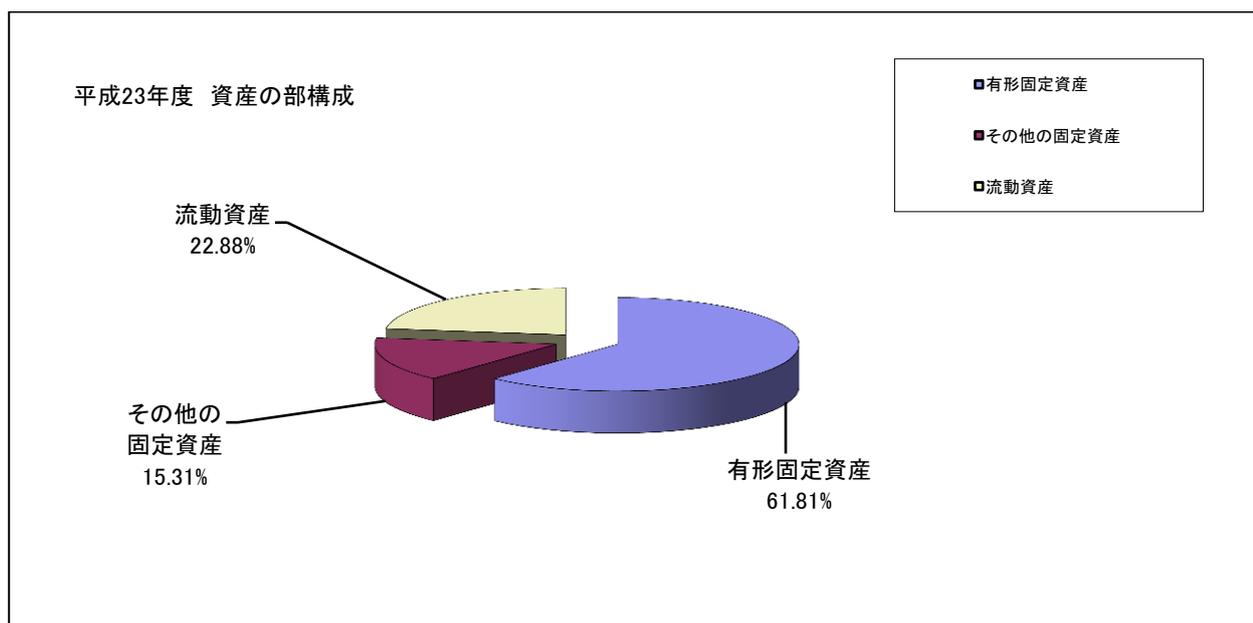
第1号基本金(学校法人が取得した固定資産で、土地、建物、備品、図書等の金額)

第2号基本金(将来固定資産を取得する目的で留保した施設設備拡充資金、その他の資産)

第3号基本金(特定基本金引当資産に計上されている国際交流基金、教職員研修基金、駒沢学園経営安定化基金、駒沢女子大学短期大学奨学金基金、駒沢学園女子高等学校・中学校留学研修基金、駒沢学園女子高等学校・中学校奨学金基金の額)

第4号基本金(学校法人の円滑な運営に必要な運転資金の額)
の4つに分類されます。

今年度は、第3号基本金「大学短期大学奨学基金」に外部からの特別寄付金の1,000,000円を追加充当いたしました。



4. 経年比較

(1) 資金収支四か年比較

収入の部

(単位: 円)

科 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
学生生徒等納付金収入	2,707,136,800	2,523,704,400	2,458,655,950	2,557,175,500
手数料収入	36,184,060	47,049,900	53,601,500	50,581,320
寄付金収入	8,130,000	21,782,735	131,500	2,630,000
補助金収入	636,152,396	657,647,923	692,395,431	668,848,225
国庫補助金収入	309,525,000	352,203,000	330,218,000	321,928,000
地方公共団体補助金収入	326,627,396	305,444,923	362,177,431	346,920,225
その他補助金収入	0	0	0	0
資産運用収入	1,061,863,677	614,776,048	655,706,050	663,676,670
資産売却収入	7,547,833,554	1,772,025,888	1,346,384,172	154,782,312
事業収入	25,586,949	25,616,890	34,346,277	38,820,090
雑収入	125,539,113	32,388,556	61,120,291	24,634,050
借入金等収入	0	400,000	200,000	200,000
前受金収入	582,068,698	642,599,179	673,080,660	673,228,858
その他の収入	1,091,263,691	2,559,445,043	567,878,473	591,276,486
資金収入調整勘定	△ 776,401,321	△ 716,428,378	△ 731,213,215	△ 713,243,212
前年度繰越支払資金	4,489,269,807	4,826,159,270	3,233,547,119	3,289,202,269
収入の部合計	17,534,627,424	13,007,167,454	9,045,834,208	8,001,812,568

支出の部

(単位: 円)

科 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
人件費支出	2,335,593,831	2,300,749,395	2,390,794,785	2,257,342,261
教育研究費支出	766,470,087	880,485,415	839,280,507	783,621,186
管理経費支出	582,267,319	507,210,153	504,710,551	486,109,247
借入金等利息支出	0	0	0	0
借入金等返済支出	200,000	0	0	0
施設関係支出	2,377,312,502	2,002,513,564	62,676,000	188,325,688
設備関係支出	424,431,447	745,411,512	136,787,611	78,585,366
資産運用支出	6,172,675,982	3,251,298,818	1,686,898,573	505,032,826
その他の支出	250,836,233	289,972,730	298,658,158	254,083,164
資金支出調整勘定	△ 201,319,247	△ 204,021,252	△ 163,174,246	△ 146,929,170
次年度繰越支払資金	4,826,159,270	3,233,547,119	3,289,202,269	3,595,642,000
支出の部合計	17,534,627,424	13,007,167,454	9,045,834,208	8,001,812,568

(2)消費収支四か年比較

消費収入の部

(単位: 円)

科 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
学生生徒等納付金	2,707,136,800	2,523,704,400	2,458,655,950	2,557,175,500
手数料	36,184,060	47,049,900	53,601,500	50,581,320
寄付金	10,261,890	27,499,197	2,353,765	3,302,049
補助金	636,152,396	657,647,923	692,395,431	668,848,225
国庫補助金収入	309,525,000	352,203,000	330,218,000	321,928,000
地方公共団体補助金収入	326,627,396	305,444,923	362,177,431	346,920,225
その他補助金収入	0	0	0	0
資産運用収入	1,061,863,677	614,776,048	655,706,050	663,676,670
資産売却差額	0	0	0	0
事業収入	25,586,949	25,616,890	34,346,277	38,820,090
雑収入	128,061,013	32,593,766	187,649,250	25,760,910
帰属収入合計	4,605,246,785	3,928,888,124	4,084,708,223	4,008,164,764
基本金組入額合計	0	0	0	△ 1,000,000
消費収入の部合計	4,605,246,785	3,928,888,124	4,084,708,223	4,007,164,764

消費支出の部

(単位: 円)

科 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
人件費	2,331,908,561	2,308,605,505	2,508,628,164	2,311,467,971
教育研究費	1,516,797,583	1,779,801,290	1,867,406,496	1,769,878,367
管理経費	675,809,658	608,637,756	605,147,256	589,201,268
借入金等利息	0	0	0	0
資産処分差額	4,724,221,711	389,101,131	456,268,152	116,951,846
徴収不能額引当繰入額	4,307,000	4,513,000	3,306,000	4,941,000
[予備費]	0	0	0	0
消費支出の部合計	9,253,044,513	5,090,658,682	5,440,756,068	4,792,440,452
当年度消費支出超過額	△ 4,647,797,728	△ 1,161,770,558	△ 1,356,047,845	△ 785,275,688
前年度繰越消費収入超過額	1,299,297,568	651,499,840	△ 510,270,718	△ 1,866,318,563
基本金取崩額	4,000,000,000	0	0	0
翌年度繰越消費支出超過額	651,499,840	△ 510,270,718	△ 1,866,318,563	△ 2,651,594,251

(3) 貸借対照表四カ年比較

(単位: 円)

科 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
資産の部				
固定資産	46,851,352,177	46,096,071,501	44,985,821,738	43,928,829,768
有形固定資産	35,256,482,227	36,971,542,301	36,040,733,159	35,210,893,527
土 地	13,959,689,398	13,986,689,398	13,986,689,398	13,986,689,398
建 物	16,617,047,688	19,878,400,070	19,159,072,439	18,512,763,019
その他の有形固定資産	4,679,745,141	3,106,452,833	2,894,971,322	2,711,441,110
その他の固定資産	11,594,869,950	9,124,529,200	8,945,088,579	8,717,936,241
差入保証金	960,000	2,760,000	5,460,000	3,360,000
電話加入権	1,188,186	1,188,186	1,188,186	1,188,186
特定資産購入引当資産	5,501,589,100	3,018,274,561	2,835,197,894	2,605,833,000
その他の固定資産	6,091,132,664	6,102,306,453	6,103,242,499	6,107,555,055
流動資産	13,288,529,738	12,962,597,503	12,712,613,750	13,033,229,105
現金預金	4,826,159,270	3,233,547,119	3,289,202,269	3,595,642,000
その他の流動資産	8,462,370,468	9,729,050,384	9,423,411,481	9,437,587,105
資産の部合計	60,139,881,915	59,058,669,004	57,698,435,488	56,962,058,873
負債の部				
固定負債	560,380,234	585,032,894	571,010,954	614,584,084
長期借入金	0	400,000	600,000	400,000
その他の固定負債	560,380,234	584,632,894	570,410,954	614,184,084
流動負債	736,845,998	792,750,985	802,587,254	806,913,197
未払金	90,415,961	90,603,609	54,860,948	57,393,438
その他の流動負債	646,430,037	702,147,376	747,726,306	749,519,759
負債の部合計	1,297,226,232	1,377,783,879	1,373,598,208	1,421,497,281
基本金の部				
1号基本金	46,736,566,743	49,219,881,282	49,402,957,949	49,632,322,843
2号基本金	5,501,589,100	3,018,274,561	2,835,197,894	2,605,833,000
3号基本金	5,680,000,000	5,680,000,000	5,680,000,000	5,681,000,000
4号基本金	273,000,000	273,000,000	273,000,000	273,000,000
基本金の部合計	58,191,155,843	58,191,155,843	58,191,155,843	58,192,155,843
消費収支差額の部				
翌年度繰越消費支出超過額	651,499,840	△ 510,270,718	△ 1,866,318,563	△ 2,651,594,251
消費収支差額の部合計	651,499,840	△ 510,270,718	△ 1,866,318,563	△ 2,651,594,251
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	60,139,881,915	59,058,669,004	57,698,435,488	56,962,058,873